

原料費調整制度による適用ガス料金の調整について (2020年5月検針分)

武州ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2020年5月に適用する1m³当たりの単位料金を、2020年4月検針分に適用の料金と同額といたします。

調整は、検針月の3か月前から5か月前まで(中2か月)の3か月平均の原料価格変動額に応じて行うもので、2020年5月検針分の単位料金は、2019年12月から2020年2月の平均原料価格に基づき算出しました。

この結果、1か月に32m³(45MJ/m³)のガスをお使いになる標準家庭で、2020年4月検針分と同額となります。

供給約款料金表

(消費税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (円/月)	単位料金 (円/m ³)		基準単位料金 (円/m ³)
			2020年5月適用 単位料金(円/m ³)	2020年4月適用 単位料金(円/m ³)	
料金表A	0m ³ から20m ³ まで	814	176.13	176.13	160.00
料金表B	20m ³ をこえ50m ³ まで	1,329	150.33	150.33	134.20
料金表C	50m ³ をこえ200m ³ まで	1,632	144.28	144.28	128.15
料金表D	200m ³ をこえ450m ³ まで	3,214	136.38	136.38	120.25
料金表E	450m ³ をこえ750m ³ まで	5,402	131.50	131.50	115.37
料金表F	750m ³ をこえるもの	10,847	124.26	124.26	108.13

標準家庭における影響

(消費税込)

1か月のご使用量	2020年5月検針分の料金	2020年4月検針分の料金	影 響 額
32m ³ (45MJ/m ³)	6,139円	6,139円	0円

原料価格の変動

基準平均原料価格 (a)	34,700 円/t
2019年12月～2020年2月の 平均原料価格 (b)	53,590 円/t
LNG価格	52,910 円/t
LPG価格	53,740 円/t
差 額 (b-a)	18,890 円/t

[参 考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を調整する制度です。
- ・ 基準平均原料価格(34,700円/t)と「平均原料価格(料金適用月の5か月前から3か月前の3か月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³当たり0.0858円(0.078円に1.10(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。□

単位料金調整額の算定方法

- ・ 平均原料価格の算定

	LNG平均価格	(貿易統計ベース)	52,910 円/t	×	0.9608
+	LPG平均価格	(貿易統計ベース)	53,740 円/t	×	0.0513
			53,592.790 円		
			↓ (10円未満四捨五入)		
			53,590 円/t		

- ・ 原料価格変動額の算定(基準平均原料価格 34,700円/tからの変動額)

$$53,590 \text{ 円/t} - 34,700 \text{ 円/t} = 18,890 \text{ 円/t}$$

↓ (100円未満切り捨て)

$$18,800 \text{ 円/t}$$

- ・ 単位料金調整額(1m³当たり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = 18,800 \text{ 円/t} \div 100 \text{ 円} \times 0.0858 = 16.1304 \text{ 円}$$

↓ (小数点第3位以下切り捨て)

$$16.13 \text{ 円}$$